

本単元で育む主な情報活用能力

F-STEP 1, G-STEP 1

該当番号の詳細内容は
「大阪府情報活用能力
ステップシート」から確認できます。



単元でつきたい力（ステップシートの項目）

- (教科等でつきたい力)
表したいことに合わせて、色や材料を工夫する。
(学校図書館等の活用でつきたい力)
様々な本にふれ、いろいろな本があることを知る。

単元における学習の展開（全5時間）（学校図書館等を活用した時間に☆印）

第1次 (1時間)	「まるい まるい」「かくかく しかく」という絵本の題名から自分なりのイメージをもつ。(☆) ・画用紙にイメージしたことを色鉛筆でかく。 ・イメージしたことばは、図書館にある絵本の題名であることを知る。
第2次 (2時間)	「もこ もここ」「じめんのしたにはなにがある」という絵本の題名から自分なりのイメージをもつ。(☆)（本時） ・画用紙にイメージしたことを色鉛筆やクレパスをつかってかく。 ・今までにならった技法を思い出す。
第3次 (1時間)	2グループそれぞれ違う題名を見て、自分なりのイメージをもつ。(☆) ・画用紙にイメージしたことを色鉛筆やクレパスをつかってかく。 ・他のグループがかいた絵をみて、どんな題名かを想像する。 ・他のグループのかいた題名の絵本を図書館で探す。

本時のねらい

絵本の題名から想像したことを、色や材料を生かしながらどのように表すか考える。

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	学校図書館活用のポイント 及び指導上の留意点
導入 (7分)	1. 「じめん」ということばからイメージを広げる。	・実際に地面の下にあるものでなくても、自由に想像していいことを伝えておく。
展開 (30分)	2. 「じめんのしたにはなにがある」ということばから、想像されるイメージを絵にする。 ・今までに習った技法を思い出す。 ・じめんのしたの世界を想像する。 ・イメージを広げるために目を閉じて自分なりの想像を膨らませる。 ・イメージしたことをクレパスや色鉛筆、コンテをつかって絵にかく。	・表し方を工夫できるように、クレヨン技法を例示しておく。 ・絵コンテも用意しておく。 ・班で向かい合ってかくことで、互いの表現を見渡せるようにする。
まとめ (8分)	3. 全員の絵を見せて、交流する。 ・友だちの表現のよさを見つけ伝え合う。 (子どもたちの感想より) かいている動物の色が不思議でおもしろい。 いろいろな色が混ざっていてどうやってこの色になったのか知りたい。など	・友だちの作品を見る際は、何が心に残ったのか、それを表すためにどのような工夫をしているかを想像したり考えたりしながら見るように伝える。 ・最後に「じめんのしたにはなにがある」という本があることを紹介し、中身を見たいという意欲を引き出す。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

まず「じめん」のイメージをそれぞれ共有してから、じめんに立った自分を想像させた。イメージを広げる際には目を閉じて自分なりの想像を膨らませる時間を確保した。サイズ違いの小さい画用紙を用意することで、子どもがイメージに合わせて自由に選んでかくことができた。また画用紙をテープでつなぎ合わせる児童もいて、表し方を工夫できていた。机間指導の際は、形や色、表現技法（ぼかしなど）に着目しながら自分のイメージに合わせて工夫しているところを声かけするようにした。鑑賞の時間はみんなが楽しみにしており、友だちのよさを伝え合い互いを認め合うことができ、また自己肯定感を高める時間にもなっていた。



イメージして絵をかいた後の伝え合いの場面。作品を紹介したり友達の工夫を探したりしている。